

若手会員の会 活動報告

<http://jweld.jp/welnet/index.html>

(若手会員の会からののお知らせはホームページにも掲載しています)

平成 30 年度春季全国大会イブニングフォーラム開催報告 および 第 58 回若手会員の会運営委員会開催報告

若手会員の会運営委員会 委員 迎井 直紀 (神戸製鋼所)
北野 萌一 (物質・材料研究機構)
阿部 大輔 (IHI)
小椋 智 (大阪大学)
庄司 博人 (大阪大学)

Report of WELNET Evening Forum at JWS National Meeting in Spring 2018
and minutes of the 58th meeting of the WELNET steering committee

1. 平成 30 年度春季全国大会イブニングフォーラム開催報告

4月25日、平成30年度春季全国大会において若手会員の会イブニングフォーラムが開催されました。今回は「若手研究者が海外研究経験によって得られたもの」について、企業・大学の若手・中堅研究者の方々にご講演頂きました。

プログラム：

17:00 開会の挨拶

溶接学会若手会員の会委員長 大阪大学 荻野 陽輔 氏

17:05 講演(司会 東北大学 藤井 啓道 氏)

「ノースウェスタン大学での在外研究と米国での生活」

物質・材料研究機構 北野 萌一 氏

「北京工業大学に滞在して」

東北大学 古谷 拓希 氏

「ウォータールー大学への留学を振り返って」

新日鉄住金エンジニアリング (株) 木坂 有治 氏

18:55 閉会のあいさつ

副委員長 JFE スチール 上月 渉平 氏

荻野委員長のご挨拶に続き、物質・材料研究機構 北野萌一氏より「ノースウェスタン大学での在外研究と米国での生活」のタイトルでご講演頂きました。米国での研究内容や普段の生活、日米研究者の研究姿勢の違いについてご紹介頂きました。次に東北大学 古谷拓希氏より「北京工業大学に滞在して」のタイトルでご講演頂きました。北京工業大学の研究環境や北京での食事、英語圏では無い国でのコミュニケーションの取り方についてご紹介頂きました。最後に、新日鉄住金エンジニアリン



写真1 北野氏のご講演



写真2 古谷氏のご講演



写真3 木坂氏のご講演

グ(株) 木坂有治氏より「ウォータールー大学への留学を振り返って」のタイトルでご講演頂きました。博士課程の授業や試験の様子、学生の研究に対する取組み方、カナダでの生活についてご紹介頂きました。

各講演において各国の様子を臨場感のあるプレゼンテーションでご紹介いただきました。全講演に共通して、文化圏を問わず海外研究者(学生も含めて)の研究活動に対する姿勢が日本のそれよりも積極的でスピード感に溢れている印象を受け、見習うべき点であると感じました。

いずれの講演も活発な質疑討論がなされた後に、上月副委員長の閉会の挨拶の後、参加者全員で集合写真を撮影し、本イブニングフォーラムは無事に終了となりました。その後の交流会におきましても若手の会メンバー間の親交を深めることができました。

最後に、今回のフォーラムは35名もの多くの方々にご参加頂き、盛況の内に終えることが出来ました。講演を快くお引き受け下さいました3名の講師の皆様方に心より御礼申し上げますとともに、ご参加者の皆様にも厚く御礼を申し上げます。

2. 第58回若手会員の会運営委員会開催報告

日時：平成30年4月25日(水) 12:00～13:00

場所：東京ビッグサイト 会議棟 6階 604会議室

資料：

welnet58-0 議事次第

welnet58-1 第57回運営委員会議事録(案)

welnet58-2 H29活動報告・H30事業計画

welnet58-3 会計関係

welnet58-4 編集関係

welnet58-5 WELNET勉強会関係

welnet58-6 H30-31運営委員会体制およびH30活動計画

welnet58-7 広報・ML関係

welnet58-8 出前講義に関して

出席者：藤井(東北大)、荻野(阪大)、上月(JFE)、庄司(阪大)、澤西(JFE)、正箱(香川高専)、柿内(富山県産業技術開発センター)、北野(NIMS)、久保(岩手県工業技術センター)、秋山(神鋼)、迎井(神鋼)、伊與田(大工大)、劉(阪大)、松田(阪大)、阿部(埼玉大学)、山下(阪大)、鴫田(阪大)、三浦(福井大)、石井(三菱電機、物種代理)、猿渡(新日鉄住金)、吉川(川崎重工業)、本間(日本製鋼所)、仁木(東芝)、小椋(阪大)、辻(コベルコ建機)、廣畑(阪大)、笠野(住友重機械工業)、細谷(IHI)(敬称略)

出席 28名、委任 15名(運営委員総数 53名)

書記：上月、廣畑

【審議・報告事項】

2.1 第57回運営委員会 議事録の確認・承認

廣畑より、welnet58-1に基づき第57回運営委員会議事録の確認があった。内容について特に問題なく承認された。

2.2 平成29年度活動報告

藤井委員長より、welnet58-2に基づき平成29年度の活動報告について説明がなされた。平成29年度に実施された春季全国大会におけるイブニングフォーラム、秋季全国大会におけるポスターセッション、研究会見学会、勉強会、GN活動および広報関連の概要を確認した。

2.3 会計関係

荻野委員より welnet58-3に基づき報告がなされた。

平成29年度は約80万円の収入があり、約84万円の支出があった。比較的多額の繰越金があり、これを徐々に消化していく観点からは適切な会計状態と考えられる。

GNの予算について、29年度は活動があったが支出はなかった。29年度分を30年度に繰り越し使用する。平成30年8月29日～31日、Institut de Soudure (4 Boulevard Henri Becquerel 57970 Yutz France)において開催されるIW共催のYoung Professionals International Conference (YPIC2018)への若手会員の会から2名程度を派遣することを検討しており、その旅費として使用する予定である。

平成30年度からは若手会員の会運営委員会の新しい活動として高専等への出前講義を企画しており、その講師派遣旅費を計上する。

繰越金が過剰な場合、学会から若手会員の活動に支給される予算が減額される可能性があるため、若手会員の会の趣旨にかなった新しい活動などを展開し、有意義に予算を使用していくことを継続的に検討する。

2.4 平成30-31年度の運営体制について

荻野新委員長（予定）より、welnet58-6に平成30-31年度の運営体制について説明がなされた。

新委員長は、溶接学会理事会の承認を得て正式に就任となる。新副委員長：庄司氏（大阪大学）、上月氏（JFEスチール）および各担当の案が提示された。

各担当は暫定的なものであり、全国大会イベント、研究会見学会などの担当は適宜増員の予定である。

2.5 編集委員会関係

伊與田委員よりwelnet58-4に基づき報告がなされた。

平成29年度後期、平成30年度前期の若手ページ総目次が紹介された。

平成30年度前期後期、平成31年度前期若手ページ編集スケジュールが紹介された。平成30年6月発刊の溶接学会誌第87巻4号までは執筆担当者が概ね決まっている。それ以降については若手会員の会運営委員会次期委員長と相談しながら決定していく。

学会編集委員（若手担当）の記事について、特集記事が第88巻2号に掲載される予定である。記事のテーマとして、力学特集「変形・強度の若手最前線」、シミュレーション特集「溶接シミュレーションの若手最前線」、レーザ特集「レーザ切断・溶接・改質特集」が検討されている。テーマを継続的に検討するとともに、2018年9月に担当者に執筆を依頼する予定である。記事の掲載は2018年12月の予定である。

「私の溶接履歴」、「じょうほう通」、「溶接タマゴ」の今後の記事執筆予定については、87巻8号まで依頼済である。

2.6 WELNET 勉強会関係

鴫田委員よりwelnet58-5に基づき報告がなされた。

平成29年6月9日（金）愛知産業での研究会見学会に合わせて勉強会講演を開催した（講師：大阪大学接合科学研究所 鴫田氏）。参加者は11名であり、発表中に質疑応答を交えながら活発な議論がなされた。

平成30年1月29日（金）戸畑ターレット工作所での研究会見学会（九州支部との共催）に合わせて勉強会講演を開催した（講師：鹿児島県工業技術センター 瀬知氏）。参加者は20名であり、発表中に質疑応答を交えながら活発な議論がなされた。

平成30年度は6月頃開催の第1回研究会見学会に合わせて実施の予定である。

2.7 全国大会運営委員会関係

北野委員より、全国大会運営委員会に関する報告がなされた（資料なし）。

4月25日にイブニングフォーラム「若手研究者が海外研究経験によって得られたもの」ならびに懇親会が開催されるため、積極的な参加が呼びかけられた。

2.8 平成30年度予算関係

山下委員より、welnet-58-3に基づき説明がなされた。

例年のイベントに加え、開催予定の出前講義分の予算を計上している。そのため、昨年度の実績に対して旅費を削減したものとなっている旨、説明がなされた。

2.9 広報・ML関係

松田委員よりwelnet58-7に基づき報告がなされた。

メーリングリストの現状が紹介され、溶接学会情報化委員会については前回報告以降、委員会が開催されていないことが報告された。

次期担当は劉委員（大阪大学）に引き継ぐ予定である旨報告された。

2.10 平成30年度活動計画

荻野次期委員長より、welnet-58-6に基づき説明がなされた。

平成30年度の若手会員の会の活動は、基本的に例年の活動を踏襲するが、新たな活動として高専等への出前講義を検討している。講義資料の目次および作成担当者の構成を検討中であり、資料の作成においては各専門分野の委員に協力を依頼する旨説明がなされた。

平成30年度第一回研究会見学会を6月頃に開催予定であるが、見学会訪問先は未定であり検討を継続する。第2

回についても未定であるが、岡山県の山本金属製作所から見学会受け入れの申し出があり、訪問を検討する。第3回研究会見学会は九州支部若手グループとの共催であり、既に訪問先等が検討されている。

2.11 出前講義について

荻野次期委員長より、welnet-58-8に基づき出前講義について説明がなされた。

荻野次期委員長より、出前講義のスライド目次案が紹介された。

出前講義は講義に1名ないし2名、スライド資料作成に5名+とりまとめ1名(荻野次期委員長)の体制での準備・運営を進めていく。講義に用いるスライド資料の作成に関しては運営委員各位のご協力をお願いする。開催は今年の秋口、福島高専での開催を予定している。

出前講義のスライド資料について、若手研究者の教育・育成のために若手会員の会を通じて共有化してほしい旨の要望があった。スライドの内容は基本的にはオープンな内容であるため、教育資料として共有化を検討することとした。

2.12 グローバルネットワーク活動について

荻野次期委員長より、グローバルネットワーク活動に関する説明がなされた。

7/15～20にBali(Indonesia)で開催されるIIW2018の中のYoung Professionalに関するイベントへはIIWにYoung Professionalとして参加登録すれば参加できる旨の説明があった。

IIWが主催するYoung Professionalのための国際会議である「Young Professional International Conference(於: Yutz, FRANCE)」の参加者を合計2名募集中であり、アブストラクトの提出が4/30と目前のため、希望者は早急に荻野次期委員長へ申し出るよう要望があった。GN予算の約65万円を旅費に充てる予定である。会議を通じて形成されたネットワークを活用し、将来的には招待講演を依頼する等、目に見える形で成果として残したい旨の説明がなされた。

2.13 新運営委員紹介

荻野次期委員長より、4名の新運営委員の紹介がなされた。

■新任:猿渡周雄氏(新日鉄住金(株)),秋山亮氏((株)神戸製鋼所),笠野和輝氏(住友重機械工業(株)),澤西央海氏(JFEスチール(株))

読者の **Goiken-bako** (御意見箱) 受付中! 皆様の御意見をお聞かせください。

「自由編集ページ」として若手会員の会から毎号メッセージをお送りさせていただいております。さらに内容の充実を図るために読者の皆様の御意見・御感想をお聞かせください。若手会員だけでなく幅広く御意見をいただければ幸いです。皆様からの御意見は「若手会員の会 運営委員会」で参考にさせていただきます。下記の項目について御回答の上、郵送またはFAXでお送りください。お送りいただいた方の中から抽選で毎号1名様にQuoカードを差し上げます。

◆送付先: 溶接学会 若手会員の会「Goiken-bako」係 FAX: 03-5825-4331
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4-20 (Subjectに”Goiken-bako”と御記入ください)
溶接会館6F

-----「Goiken-bako」記入項目-----

- (1) 氏名, フリガナ, 年齢, 溶接学会入会年, 所属, 住所 (Quoカード送付先)
- (2) 何月号についてお答えいただけますか。 ()
- (3) 「自由編集ページ」についてのご意見・ご感想。
- (4-1) 今月の溶接学会誌の全ての記事の中で、興味のある記事 (ページ番号でお答えください)。
- (4-2) 今月の溶接学会誌についてのご意見・ご感想。
- (5) 今後「自由編集ページ」や溶接学会誌で取り上げて欲しい記事。
- (6) その他, 若手会員の会, 溶接学会の各種活動についてのご意見・ご感想。